

ARIBからのお知らせ

第21回電波功績賞表彰候補者の推薦について

当会では、電波の有効利用に関する調査、研究及び開発において画期的かつ具体的な成果を挙げた、あるいは電波を有効に利用した新しい電波利用システムの実用化に著しく貢献した部外の個人又は団体に対して電波功績賞（総務大臣表彰／電波産業会会長表彰）を授与又は贈呈して表彰することとしています。第21回電波功績賞表彰式は、平成22年6月に予定している総会の開催日に併せて執り行う予定です。

つきましては、電波功績賞の表彰対象としてふさわしい個人又は団体について、ARIB会員各位に送付済みの電波功績賞表彰候補者推薦書にご記入の上、平成22年3月10日(水)までにご推薦下さいますようお願い申し上げます。

なお、当該推薦書のご記入にあたって電子データによる様式をご希望される場合は、以下の担当者までお知らせ下さい。

〔担当〕

100-0013 東京都千代田区霞ヶ関 1-4-1 日土地ビル
11F

社団法人電波産業会 企画国際部 山田

TEL 03-5510-8592 FAX 03-9592-1103

ARIBの動き

第158回業務委員会を開催

第158回業務委員会を開催しましたので、その概要をお知らせします。

- 1 日時 平成22年1月13日(水) 午後2時00分～3時20分
- 2 場所 当会第2会議室
- 3 議事概要
 - (1) 平成21年度総務省所管第2次補正予算(案)の概要についての説明がありました。
 - (2) 平成22年度総務省所管予算(案)の概要についての説明がありました。

(3) 原口ビジョンについての説明がありました。

(4) 新たな電波の活用ビジョンに関する検討についての説明がありました。

総務省からのお知らせ

2012年世界無線通信会議（WRC-12）に対する我が国の暫定見解に係る意見募集

【平成21年11月13日の総務省報道資料から】

総務省は、平成24年（2012年）1月23日（月）から同年2月17日（金）までの間、開催される予定の世界無線通信会議（WRC-12）の議題に対する「2012年世界無線通信会議（WRC-12）に向けた我が国の暫定見解」を策定しました。

つきましては、この暫定見解について、平成22年1月13日（水）から同年2月12日（金）までの間、意見の募集を行います。

1 経緯

WRC-12は、国際電気通信連合（ITU）の無線通信部門の会議の一つであり、国際的な各周波数帯の利用方法、無線局の運用に関する各種規定、技術基準など国際的な電波秩序を規律する無線通信規則の改正を目的として、平成24年1月23日（月）から同年2月17日（金）までの間、スイスのジュネーブにおいて開催される予定です。

（概要は別紙1<http://www.soumu.go.jp/main_content/000049731.pdf>のとおり。）

今般、総務省では、平成22年3月8日（月）から同年3月12日（金）までの間、タイのバンコクにおいて開催される予定の第3回アジア・太平洋州電気通信共同体WRC準備会合（APT-WRC準備会合）への参加に先立ち、「2012年世界無線通信会議（WRC-12）に向けた我が国の暫定見解」（別紙2<http://www.soumu.go.jp/main_content/000049732.pdf>）を策定し、当該見解について、意見の募集をします。

（検討の流れ（概要）は参考<http://www.soumu.go.jp/main_content/000049730.pdf>のとおり。）

2 意見募集要領等

・意見募集対象：「2012年世界無線通信会議（WRC-12）に向けた我が国の暫定見解」

（別紙2<http://www.soumu.go.jp/main_content/000049732.pdf>）

・意見提出期限：平成22年2月12日（金）17：00（必着）

詳細については、意見公募要領（別紙3

<http://www.soumu.go.jp/main_content/000049733.pdf>）をご覧ください。

なお、本件については、総務省のホームページ(<http://www.soumu.go.jp>)の「報道資料」欄及び電子政府の総合窓口[e-Gov](<http://www.e-gov.go.jp>)の「パブリックコメント」欄へ掲載するほか、下記の連絡先窓口にて配布します。

3 今後の予定

いただいた御意見は、ITUやAPT-WRC準備会合への対処の参考とさせていただきます。

詳細は、<http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/02kiban10_000009.html>をご参照下さい。

平成21年度「ユビキタス特区」事業（第二次募集）に係る委託先候補の決定
【平成22年1月8日の総務省報道資料から】

総務省は、平成21年度「ユビキタス特区」事業に係る提案の第二次募集について、平成21年11月6日（金）から同年11月20日（金）までの間、提案の公募を行いました。

この度外部有識者から提案内容について評価を受け、その評価を参考に委託先候補を決定しましたのでお知らせいたします。

1 事業の概要

「ユビキタス特区」事業（参考1<http://www.soumu.go.jp/main_content/000049538.pdf#2>）の取組を踏まえ、これまでの取組を更に推進するため、新たなICTサービスの開発・実証により、ICTの持つ可能性を実現するものです。

2 提案公募の結果

公募期間中に30件の応募があり、外部有識者からなる評価会（構成員は参考2<http://www.soumu.go.jp/main_content/000049540.pdf#2>のとおり。）において、提案内容の評価を行い、その評価を参考に、そのうち5件を委託先候補として決定しました（以下の表を参照）。

平成21年度「ユビキタス特区」事業（第二次募集）に係る委託先候補（受付順）

| プロジェクト | 代表機関 |
|--|---------------------|
| 携帯電話を利用した独居高齢者・軽度身体障害者向け「緊急通報システム（ユビキタス見守りシステム）」の開発と実証 | 株式会社システムインナカゴミ |
| 地質データを活用したリアルタイム地盤災害予測サービスの実証 | 株式会社相愛 |
| 電子記録債権のセカンダリーマーケットを創出するためのICT基盤の実証 | エヌ・ティ・ティ・ソフトウェア株式会社 |
| 農業用センサーネットワークを活用した生産性向上の実証 | ソフトバンクモバイル株式会社 |

| | |
|---|--------------------|
| 産業人材の士気安心向上のための就労履歴ユビキタス情報基盤の整備～建設業を例として～ | 株式会社横須賀テレコムリサーチパーク |
|---|--------------------|

詳細は、<http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/02ryutsu02_000020.html>をご参照下さい。

電気通信・放送行政の動き

「700/900MHz帯を使用する移動通信システムの技術的条件」の審議開始について
(情報通信審議会での審議開始)

【平成21年12月18日の総務省報道資料から】

平成21年12月18日、情報通信審議会 情報通信技術分科会（分科会長：坂内 正夫 国立情報学研究所所長）において、「700/900MHz帯を使用する移動通信システムの技術的条件」の審議が開始されることになりました。

1 審議開始の背景

我が国の携帯電話及びPHSの加入数は1億1,428万加入（平成21年10月末時点）に達し、このうち、携帯電話に占める第3世代移動通信システム（IMT-2000）の割合は95.4%であり、第2世代移動通信システムからの移行が着実に進行しています。

また、社会・経済活動の高度化・多様化を背景に、インターネット接続や動画像伝送、携帯電話を利用したデータ通信利用が拡大傾向にあり、より高速・大容量で利便性の高い移動通信システムの導入に期待が寄せられているところです。

さらに、3.9世代移動通信システムの標準化の進展を踏まえ、世界各国において2010年以降の実用化に向けた事業者等の取組が進められております。

こうした中、我が国においては、地上テレビジョン放送のデジタル化に伴う空き周波数(700MHz帯)及び現在第2世代移動通信システム（一部IMT-2000を含む。）に使用されている周波数の再編に伴う空き周波数(900MHz帯)の一部の周波数が、平成24年（2012年）7月以降、移動通信システムに使用可能となる予定です。

（別紙参照<http://www.soumu.go.jp/main_content/000047618.pdf>）

このような背景を踏まえ、700/900MHz帯を有効利用するための周波数配置や、他システムとの間の共用条件等を勘案しつつ、700/900MHz帯を使用する移動通信システムの導入に向けて、必要な技術的条件の検討を開始するものです。

2 審議内容

「携帯電話等の周波数有効利用方策」（平成7年7月24日付け電気通信技術審議会諮問第81号）のうち「700/900MHz帯を使用する移動通信システムの技術的条件」について審議が行われます。

3 今後の予定

総務省では、平成22年10月ころに一部答申を受け、その後、関係規定の整備を行う予定です。

詳細は、<http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/02kiban14_000039.html>をご参照下さい。

編集後記

前号(No.715)に引き続きPCネタとなります。

自宅のPCのハードディスク交換により、体感速度が格段に向上したことに気をよくして、データ保存用に1TBのハードディスクを増設することにしました。

ところが、増設したハードディスクをPCが認識してくれません。

トライ&エラーを半日繰り返したあとにネット検索で調べたところ、自宅の古いPCのマザーボードではハードディスクの転送レートが1.5Gpbsまでしか対応していないため、今回購入したハードディスクのデフォルトの転送レート設定3.0Gpbsを1.5Gpbs切り替えることが必要なのですが、今回購入したハードディスクは他メーカー製ハードディスクのようにジャンパの取り付けで転送レートの切り替えを行うのではなく、メーカーが提供するソフトウェアツールで転送レートを切り替えるものであることが判明しました。

ところがデフォルトで認識しないため、転送レートの切り替えができません。転送レート3.0Gpbsをサポートしている友人のPCを借りれば転送レートの切り替えはできるはずと思いましたが、他人のPCを使うことも気が引けて（一度PCのケースを開けてケーブルを引き出すことになる）、結局、他のメーカーの1TBハードディスクを買い直しました。

買い直したハードディスクは、これまでの苦労がうそのようにあっさり認識されましたが、使えないハードディスクが1台余ってしまったことを悔しく思います。

(編集子:PAO)